

2009年9月17日

「お子さんのじんましん」

Q: うちの息子は生後八ヶ月なのですが、一ヶ月前にほっぺたに「じんましん」が出ました。その三日後に胸にも出ました。その二回とも離乳食を食べてから20時間以上たっていました。小児科を受診しましたが、「じんましん」は原因がはっきりわからないことが多いと言われました。今日また、太ももに「じんましん」が出ているようなのですが、「じんましん」ってどうすれば良いのでしょうか？

A: 生後まもない乳児期は新しい食べ物や環境の変化に敏感に反応します。「じんましん」はアレルギー反応の一種です。

体に今までなかったタンパク質が入ってくることで、以前作られた抗体などが反応して発疹やかゆみなどを発します。全身の場合もあれば部分にでる場合もあります。皮膚の薄い部分や粘膜などに出やすいです。「じんましん」が出た2回とも、離乳食の後ですのでその中のものに反応していると思われます。乳製品・鶏肉など動物性蛋白質・大豆たんぱく等、原因は様々です。病院の先生がおっしゃる通り、原因物質を探すことは大変困難です。時々、そのために除去食の指導を行う小児科の先生もいらっしゃいます。しかし、「じんましん」の症状が局所的で一過性であればあまり気にせず、タンパク質の抗原性を低下させるためによく加熱してみてください。乳幼児は腸の粘膜の上皮組織が薄く弱いので、異種タンパク質が通過しやすいことがあります。月齢を重ねるごとに自然と改善することが多いと思います。水分もしっかり与えて下さい。

漢方の養生では、内臓の働きを良くするお茶をお勧めしています。晶三仙（しょうさんせん）と呼ばれるお茶です。中には麦芽・サンザシ・麴が入っていておなかの環境を整える働きがあります。乳児でも飲むことができますし、味もサンザシの甘みがあり、評判は上々です。あと、乳児期は乳児湿疹などできやすいですが、それによって皮膚が丈夫になることもありますのであまり神経質にならないようにして下さい。外気にできるだけさらしてあげて、エアコンなどの使い過ぎには注意して下さい。水分は重要ですのでお白湯でいいので便の状態を見てしっかり与えてあげて下さい。